ステップアップ21

ねっとわーく

２０１８年４月号
社会福祉法人 とよさと
〒529－1168
滋賀県犬上郡豊郷町八目 49 番地
tel:0749-35-0333
fax:0749-35-2123
URL:http://stepup21.or.jp/
発行責任者
施設長　大　橋　　弘

～地域で 誰もがあたりまえに暮らせる 支援サービスをめざして～

滋賀県立甲良養護学校
岸田雅信（きしだ まさのぶ）様

生活介護では、食堂でランチをしています。
広い窓からは外の景色がよく見えます。
休憩中の職員も一緒にランチをしています。
詳しくは中面記事をご覧ください。

甲良養護学校が開所した当時「放課後に子どもたちが安心して過ごせ、何でも相談できる場所があったらいいよね!」と保護者の方と話していたことを思い出します。そんな願いが叶って彦根市開出今町に最初の「彦愛犬地域障害者生活支援センター」が開設されました。当時の支援センターは利用するために送迎して来られるお母さんや兄弟さんたち、支援員さんたちがいつも笑顔で気楽に話せる憩いの場であり和気藹々とした雰囲気だったことを思い出します。

近年、障害のある子どもなどが通う「放課後等デイサービス」（放課後デイ）の事業所が全国的に急増しています。甲良養護学校でも下校の時間帯には10数台のワンボックス送迎車が校舎横の通路に並ぶようになりました。

福祉制度が充実してきた今「障害児を預ける場がほしいという親側のニーズに応えることが先行し、子どもの視点や支援の専門性が置き去りにされている面が生じてきているのではないか」と心配しています。

「彦愛犬地域障害者生活支援センター」が開設された当時に「サングループ事件」が起こりました。その時に地域で作成されたリーフレットにあるように「誰もがあたりまえに暮らせる」そのために必要な地域支援のあり方について地域と共に支援センターを中心として一緒にスクラムを組んで考えていきたいと思います。

～地域生活Ⅰ型より～
ちょっと遅めの新年会

２月25日（日）にサロンでちょっと遅めの新年会を開催しました。今年の新年会は、支援センター太陽と合同で行いました。

ステップあップ２１の食堂を使い、みんなでちゃんこ鍋をしました。ボランティアさんに切っていただいた具材を各テーブルで調理します。あっという間に鍋の中のものがなくなるテーブルもありました。

食後は、ビンゴゲームを行いました。マス目のみが書いた紙を配り、好きな場所に好きな数字を書きます。その後は普通のビンゴゲームと同じルールです。職員が数字を引く度に「あった！」「ないわ～。」という声が聞こえてきます。ビンゴになる人が出ると、自然と拍手が起こっていました。

利用者さんから、「楽しかった～！」「またステップに来たい。」「ビンゴ楽しかったけど、なかなか当たらんかったぁ。」などたくさんの感想をいただきました。

（記：田口）

～生活介護部門より～
食堂でランチタイム！

Ａルームでは、１月30日から、１階食堂での昼食を始めました。以前、食堂ではカレー店を開いていたため、生活介護の利用者さんはデイルームで食事をしていました。

昨年カレー店が閉店し、せっかく広い場所が空いたのだからみんなで活用しよう！と意見があがったことがきっかけでした。

食堂には大きなテレビがあり、利用者さんの要望を聞きながら、テレビ鑑賞もしています。また、ロビーには新聞や自動販売機があり、利用者さんは食事が終わると、ジュースを買ったり、ロビーで新聞を読んだり、Ａルームに戻ったりと、それぞれが好きに過ごしています。

食堂でのランチについて利用者さんからは、「食堂は広いし、自分のタイミングでジュースや新聞を読めるからいい。」といった意見も出ています。

今後も利用者さんの要望や意見を聞きながら、活動を考えていきます。

（記：薩摩）

～居宅介護部門より～
買い物ができるように！

行動援護のサービスでは、ヘルパーと一緒に買い物に行く事があります。その時、自分の持っているお金の範囲内で「買える」、「買えない」を視覚的にわかりやすくする為の工夫をしています。

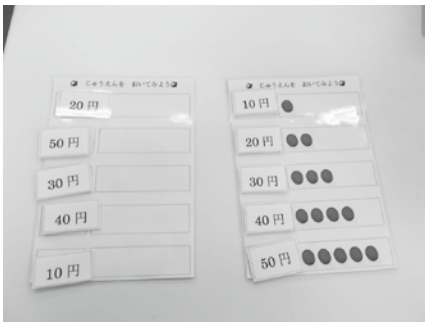
カードに書いてある数字の中から欲しい物の値段を探し、数字があれば持っているお金で買える事がわかります。数字やお金の理解が難しい方でも買い物が出来る様に、その人にとって実用的な工夫を考えています。

買い物で「欲しい物が買えた！」と楽しい経験をしてもらいながら、作業所や生活のモチベーションに繋がるように、と思っています。

他にも、20円は10円玉何枚？といった自立課題にも取り組んでもらいながら、お金の理解に関する勉強も行っています。

（記：原田）

値札を見て、カードの数字と照らし合わせます。
カードの中に同じ数字があれば、今日のおこづかいの中で買えます。



右側の用紙をヒントにしながら、実物の硬貨を左側の用紙に置いていきます。

～生活介護部門より～
調理教室について

生活介護では、月に１度教室調理を開催しています。

参加する利用者さんと話し合って、作ってみたいメニューに挑戦できる様にしています。

調理の工程をホワイトボードに書いておくと、それを見て「次はこれやなぁ。」「私はここがしたい！」と進んで調理に参加します。

３月１日の調理教室では、たらこスパゲティ・サラダ・コーンスープを作りました。

タラコをほぐし混ぜたり、サラダの食材を切ったり、味見もしてもらいます。

後に感想を聞くと「美味しかった！」や「好きな食べ物ばかりだった。」と話していました。

今まで調理教室に参加していなかった利用者さんは、自分が食べたいメニューが作れるという事で、「参加してみようかな。」と関心をもってくれています。　（記：加藤）

～居宅介護部門より～
自分の想いを伝えてみよう

居宅介護では、自分の想いを表出しても相手になかなか思うように伝わりにくい利用者さんの為に、コミュニケーションボードを使用した取り組みを行っています。

ボードには職員等の顔写真や、活動場所の写真があり、その写真を指差しする事でやり取りを充実させ、コミュニケーションの幅を広げる事を目的に作成しました。

ある日のサービスではボードを目の前に広げると、昨日の日付（カレンダー）を指差しした後、職員の顔写真を指差し「昨日のサービスは〇〇さんが担当だった」ということを伝えてくれました。

職員の顔写真を指差して、先日のサービスの様子を教えてくれました。

また、自身の顔写真→カレンダーの日付→お誕生日のイラストを順に指差し、「この日が自分の誕生日」ということも職員に教えてくれました。

実際に使用し始めてから「何を話そうか」とボードを眺めていたり、こちらが声をかけていなくても自ら指差しして表出したりすることが増えてきているように感じます。ボードを通じてよりコミュニケーションの幅が広げられるように今後も活用していきたいです。

（記：金子）

♪苺の豆知識♪

春が旬の食べ物のうち、苺についての豆知識を紹介しようと思います。

みなさん、苺は赤い部分が果実で、その表面にある黒いツブツブがタネだと思っている人が多いのではないでしょうか。ところが、実はそれが違っていて、赤い部分は茎の先が大きくふくらんだもので、あの黒いツブツブが果実なのです。そして、タネは黒いツブツブの中心にあるのです。

つまり、今まで果実だと思って食べていた部分は茎で、タネだと思っていた部分が果実だったわけですね。

以上、苺についての豆知識でした。

（記：宮川）

～居宅介護部門より～
休日は移動支援を利用して気分転換

「今日はここいくわ。」と梅本さんが職員に差し出した紙には、スーパーやファーストフード店などの名前が書いてあります。職員と行く順番を相談して、お店に向けて出発です。

スーパーで働いておられる梅本さんは、仕事が休みの日に移動支援サービスを利用して買い物や食事に出かけています。

移動支援サービスでの楽しみを梅本さんに聞くと、「職員さんとお話しするのが楽しみ。」、「デイサービスのお花見や夏の行事のことを聞きたい。」、「サーティーワンや買い物も楽しいで。」、と話してくれました。

当事業所のデイサービスも利用されている梅本さんは焼き肉パーティーが好きで、職員によく「次はいつかな、またいきたいな。」と話しています。

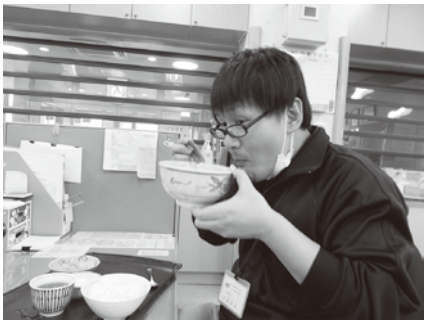
日頃、新聞の折り込みチラシで飲食店のクーポン券を見つけると、〇日のサービスで行こうと計画を立て、次の移動支援サービスを楽しみに仕事に励んでおられる梅本さんです。

２月20日はハンバーガー店でのランチや買い物をしました。

～一番人気の給食メニュー～

ステップアップ21の給食メニューで、利用者さん・職員共に一番人気が高いメニューは「ラーメン」です。

いろんな種類のラーメンがあり、野菜ラーメン、味噌ラーメン、豚骨ラーメン、カレーラーメン等があります。



給食メニューがラーメンだと、数日前から「〇曜日はラーメン！」と利用者さんや職員の間で話題になります。

２月24日（土）はカレーラーメンでした。まだ肌寒い日だったので、温かいカレーラーメンをすすって皆で温まりました。「ごはんにも合うわ。」「カレーのいい匂い。」と感想が聞かれました。

（記：尾田）

～生活介護部門より～
２月の旅行

２月23日（金）に近江八幡市にある、とんかつのお店の京いぶきにでかけました。ドライブが好きな利用者さんも多く、向かう車中も表情よく楽しそうな声が聞こえていました。

京いぶきでは、大きなとんかつを皆さん美味しそうに食べていました。「美味しい、来れてよかったね。」、「また来たいね」などの感想がありました。

食事の後は、竜王かがみの里での買い物や散策を楽しみました。自分の欲しいお土産を見て回ったり、飲み物を購入したり、思い思いの時間を楽しみました。

（記：山口）

編集後記

皆さん、春がやってきましたね。春といえば桜ですが、桜が満開になると、うれしい気持ちと共に、散ってしまうのがもったいないような少し寂しい気持ちにもなります。

桜だけではなく、土の香りや温かい日差し、鳥の声など春を感じられる感覚はたくさんありますね。皆さんはどのようなときに春の訪れを感じておられるでしょうか？

（記：尾田）